

えびの市過疎地域持続的発展計画（令和3年度～令和7年度）
地域の持続的発展のための基本目標 「最終評価」 結果

えびの市過疎地域持続的発展計画では、地域の持続的発展の基本方針において掲げた基本方針に基づき、計画期間内の基本目標を以下のとおり設定しています（本文8ページ及び9ページ）。

基本目標の達成状況については、中間評価（令和3年度から令和4年度）及び最終年度（令和7年度）の状況により評価を行います。人口に関する目標については、「現住人口」及び「2025国勢調査」により、移住者数については、「庁内の実績」をとりまとめ、評価とともに公表するものです。

① 人口に関する目標

令和2年国勢調査人口 速報値（基準値）	令和7年国勢調査人口（目標値）
17,645 人	人口減少率を5%以内に抑制

② 移住支援策を活用した市外からの移住者数目標値

令和2年度実績値	令和7年度（目標値）
71 人／年	100 人／年

【 最終評価結果 】

① 「人口に関する目標」に対する達成状況と評価

（達成状況）令和7年度目標値：人口減少率を5%以内に抑制

令和2年国勢調査人口 速報値（基準値）	令和7年国勢調査人口 速報値
17,645 人	15,607 人 （減少率：11.5%）

（最終評価）令和7年国勢調査人口（速報値）は15,607人であり、令和2年国勢調査人口からの減少率は11.5%との結果になった。主な要因として、死亡数の増加、若年女性人口の減少やこれに伴う出生数の減少、また、進学と就職による若年層の流出等が考えられるため、地域経済の活性化や移住・定住対策、子育て環境の充実などの施策を行い、人口減少の抑制に努めていく。

② 「移住支援策を活用した市外からの移住者数目標値」に対する達成状況と評価

（達成状況）令和7年度目標値：100人／年

令和2年度実績値	令和7年度実績値
71 人／年	44 人／年

（最終評価）移住者数については、令和3年度をピークに減少傾向となり、令和7年度は目標値を大きく下回った。コロナ禍により高まっていた地方回帰の機運も平時に戻り、都市部へのアクセスが維持できる近距離エリアへの移住の人气が高まっていることが要因として考えられる。今後も、引き続き都市部での移住相談会をはじめ、定住促進サイトの「まちの人の声」「移住者の声」の充実を図ることで地方移住をイメージできる情報発信に取り組む。

また、年度末に空き家バンクへの物件登録数が増加しており、優良空き家の掘り起こしを行うなど更なる物件登録の拡充を図りながら、これに伴う改修や取得に係る費用の補助など、各種支援策のPRを強化することで移住・定住に繋げていく。